

入試直前準備マニュアル【保存版】

受験（検）票と一緒に注意書きのプリントをもらっている場合、まずよく見よう！

準備は？→1～2日前には確実に準備を終わっておくこと。新しい勉強をするより、確実な復習を。

寒さ対策→防寒着（あまり大きな服は置き場所に困ります。また派手な模様やロゴ入りは避けましょう）、手袋、マフラー、カイロ等。暖房をつけない高校もあります。外見で目立ち過ぎないように下着で調節する。ひざ掛けは使いません。

持っていく物→受験（検）票、筆記具（マークシート式の学校は鉛筆が便利。何本か持っていく。消しゴムは転がらないものを、できれば2個）、生徒手帳、腕時計（受験教室の時計がない場合が多い。）上靴が必要なら、下靴を入れる袋も。（午後もあるなら）弁当、水筒が必要。もちろんケイタイやスマホは禁止。お金は交通費より少し多めに。

制服→汚れていないか。清潔な着こなしを。ボタンをとめる。スカートはひざが隠れる長さにしましょう。もちろんシャツ出しや腰パンもしません。靴下は白、紺、黒で。くるぶしソックスや派手な靴も受験（検）には△。

交通手段→電車、バスの「行き先」「出発時間」を調べておく。決められた集合時間の20分前ぐらいに着くつもりで。もし1本乗り遅れても大丈夫なぐらい、時間に余裕を持って。自転車は、万一の事故やトラブルのとき、遅刻が認められません。（雪や人身事故等による公共交通機関が原因の遅刻は、駅員さんやバスの運転手さんをお願いして延着証明をもらって受験校に提出しましょう）

生徒手帳→住所・氏名などが記入されていますか。受験票を忘れた場合も考えて念のため受験番号も書いておきましょう

当日は？→早めに起きて、朝の時間に余裕をつくろう。もちろん前夜は夜更かししません。

朝寝坊→あせらない。遅れても高校に行く。たとえ寝ぐせ直しでもWAX、ジェル、スプレーなどはダメ。

困ったときは→「受験（検）票忘れ」を途中で気付いたら？取りに帰って遅刻するより受験票なしでも間に合う方が大事。それも含め、忘れ物や遅刻のときは、まず高校の受付（または事務室）へ行き、そこで指示を聞く。

着いたら→神川中の先生が待っている場合は、出席のチェックを受けることもあります。前日指導の話をよく聞きましょう。試験場に入ったら自分の教室、座席の確認。トイレの場所確認。シャーペンの芯のチェック（芯ケースもカバンにしまっておく）。不要な私語は「だらけている」と見られます。しゃべらず落ち着いて「自分の空間」をつくろう。

試験中→落ち着いて静かにしよう。まず問題全体を見渡す。分かる問題から始めましょう。見直しの時間も取ろう。超難問は後回しにしよう。試験中に筆記具を落としても拾ってもらえないこともあるので余分を机の上に置いておく。試験中にトイレにどうしても行きたい時は試験官に尋ねよう。試験中の「私語」「キョロキョロわき見」「居眠り」「友達とアイコンタクト」などは、その時点でアウトになることがあります。面接までの待ち時間も見られている。本を持って行くなど、時間つぶしができるようにして静かに待つ。

終わってから→面接が翌日の人は登校時間（受験（検）番号順に登校時間が違う）や場所の確認をしてから帰る。帰りの駅やバス停に、高校の先生がいることがよくあります。家に帰るまで気を抜かず頑張り！

面接は？→「形」に神経を使わねばならないのは、普段からできていないからです。普段から、きちっとしましょう。

面接官に「この生徒、うちの高校に欲しい！」と思わせよう！

【外観】

★カーディガンのそで、裾が長い、袖先が破れている→ブレザーから出ているとだらしく見える。できれば、着ない方がすっきりする。寒さは下着やカイロで調節を。

★ブレザーのボタンがない→直しておこう。学校で買うならボタンは100円、裏ボタンは10円。

★靴、靴ひもがゆるい→ひもをきちんと結ぶ。できればハイカットの靴も控えよう。こういう場面ではだらしく見える。

★第一ボタンを外している→できれば留めた方がよい。

★髪が長い。前髪が顔にかかり、表情が見えにくい→特に女子。おじぎするたびに前髪を直しては面接でマイナス。ピンでとめる、後ろが長ければくる。耳が見えている状態の方が印象は良い。

★姿勢が悪い（背筋が曲がっている）→面接ではイスの背もたれを使わず、浅めに座る。骨盤を立てる。ヘソを前に出し、肩をやや引き気味にするイメージで。

【作法】

★ドアの開け方→両手で、きちんと開ける。開ける幅が狭く、自分がすり抜けるような入り方は良くない。

★ドアの閉め方→ドアの方を向いて両手で閉めよう。

★おじぎのタイミング、回数→入室時と、イスの横、退室時であわせて3度、おじぎする。その時に「失礼します」「お願いします」「ありがとうございました」などと言えるともっと良い。

【行動、会話】

- ★声が小さい、自己アピールが弱い→台本通りでなくてもいい。自分を最高にアピールしよう。
- ★手足の位置→手はひざの上。足は、男子は肩幅程度に開く。女子はひざ、つま先をそろえる。
- ★目が泳ぐ。視線が落ち着かない。手で顔や髪を触る。足をゆすってしまう。→そういう部分に自信のなさが表れる。ある程度は仕方ないと思いますが、いい意味で開き直る、自分に言い聞かせて自信を持たせる。
- ★元気がなさそうに見える→まっすぐ相手の鼻や首あたりを見る。ずっとうつむき加減だと暗い印象になる。
- ★答えに困ると固まってしまう→頭が真っ白になった時。沈黙が続くと余計に焦る。分からないことは「分かりません」予想外の質問には「すみません、今は思いつきません。」などと言えば良い。
- ★予想される質問に答えられない→(例)「休日はどう過ごしていますか?」「音楽をよく聞きます」「どんな音楽ですか?」「…分かりません。」では説得力がありません。自分の答えに対して突っ込まれても答えられるよう、2～3段階踏み込んで予習しておきましょう。
- ★すり足→これも意外に多い。部屋を出た後で安心して(?)なってしまうが、靴音でばれる。

【面接アンケート】に協力して下さい。

- ★君たちも、去年の先輩のアンケート(教室にファイルが置いてある)を見て覚えましたが、来年の後輩のために協力をお願いします。入試が終わった日に家で書いて、次の登校時に中学校に提出して下さい。

合格発表は？

今までの事前指導では、合否に関わらず中学校へ報告に来て下さいとしていましたが、コロナウィルス感染拡大防止の観点から、以下のように変更します。

ウェブでも確認できますが、

①合格の場合 1または2のいずれかの方法で報告してください。

- 1. 中学校へ登校して自教室で担任に報告
- 2. 新型コロナウイルスの情勢が気になる家庭については、中学校へ電話連絡での報告も可能

②不合格の場合

この場合に限り、中学校へ登校して自教室で担任に報告してください

私立併願先、公立後期、通信制を受験するなどの今後の方向性の確認をしましょう。

合格発表のとき、自分の実力(どの教科がよくできたのか、どの教科に課題が見られたのか)を確認する意味でも成績開示をしておきましょう。今年の進路指導では、担任の先生は今の高校1年生以上の学年の成績開示の結果も参考にしながらお話をされていました。次の受験生のためにも合否に関わらず成績開示にご協力をお願いします。(担任の先生から用紙を配られていると思いますので、それを使ってください。合格を電話で報告する場合は、成績開示も電話での報告で大丈夫です)

～益山エピソード～

以前、私が3年担任をしていた頃、クラス内に他県の私立高校を受験した生徒がいました。彼はクラスのムードメーカーで元気な野球少年でした。1月上旬、早々に受験を終えた彼は、なぜか受験後の方が勉強に一生懸命になっているように私には見えました。受験後のある時、「受験終わったのに最近、今まで以上に頑張っているね～。どうしたん?」と聞いたら彼は「俺、まだ終わってないで。クラスみんなが終わってへんやん。クラスみんなの受験が終わるまでは、受験は終わりじゃないねん。」と言いました。グッときて思わず涙が出ました。担任って本当にいい仕事だなんて改めて感じた瞬間でした。

そんな彼の結果は、もちろん「合格」でした。

保護者の皆様へ

一年間、進路実現に向けて、様々な場面でご協力いただきありがとうございました。大きな滞りもなく無事公立中期選抜を迎えられましたことを、大変嬉しく思っております。これも、ひとえに保護者の皆様のご指導のおかげだと思っております。ありがとうございました。これからのお子たちの進路実現、更なる飛躍を心よりお祈り申し上げます。